

科目名		糖尿病専門医・内分泌専門医養成講座	
科目責任者	中山田 真 吾	(第1内科学 教授)	
担当者	久 保 智 史	(第1内科学 准教授)	
	宮 川 一 平	(第1内科学 講師)	
開講時期:	1～4年次	単位数:	2 単位
		時間数:	90分× 15 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>内分泌・代謝・糖尿病内科専門医資格を取得する事を目標として、内分泌・代謝・糖尿病疾患患者の診療を担当し、病態生理を形態学・生理学・免疫学・分子生物学などから多面的に解析し、診断・治療への展開について、講座の講義・セミナー等で修得するとともに、診療現場で実践的に習熟し、内分泌専門医の資格取得を目指す。また、専門医として内分泌・代謝・糖尿病学の発展に貢献できるように、臨床的に有益な知見を自ら見いだして、その成績を発表するためのトレーニングを同時に行う。内分泌専門医として、</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 内分泌・代謝・糖尿病疾患の病態、診断、治療、管理、保健と福祉等に関する知識、技能、態度を習得する。 2) 適切かつ安全な内分泌・代謝・糖尿病疾患の診療を提供できる専門医としての能力を取得する。 3) 内分泌・代謝・糖尿病疾患を継続的に学習し、臨床的能力を維持できる。 4) 内分泌・代謝・糖尿病疾患に関する基本的な病態と作用を理解し、ホルモンと代謝調節機構を理解する。 5) 内分泌・代謝・糖尿病疾患についての診断方法、基本的な治療方法を習得する。 6) 内分泌・代謝・糖尿病疾患の診断に必要な検査法について基礎的知識を習得する。 7) 最新の細胞・分子レベルの知見を踏まえて臨床との関連性を把握する。 8) 内分泌・代謝・糖尿病疾患の成因・病態について、具体例を通じて症候・診断・治療を理解・習得する。 9) 内分泌・代謝・糖尿病疾患の最新の基礎研究・臨床研究の動向を理解する。 10) 内分泌・代謝・糖尿病疾患に関する研究の思考過程を学び、内分泌・代謝・糖尿病内科専門医としての基盤を構築する。 			
● 評価方法	発表等 60%、討論等 20%、レポート等 20%により総合的に評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		